

「JIS2004 フォントパッケージ」をご利用の場合

Microsoft 社より、「JIS X 0213 : 2004（以下、「JIS2004」）に対応したフォントが提供されていますが、電子入札システムでは JIS2004 には対応していません。JIS2004 対応フォントをご利用になられた場合、文字化けして表示されたり、同じ文字が異なる字形で表示される可能性があります。電子入札をご利用になるパソコンでは、JIS90 フォントパッケージをご利用ください。

1. Windows XP の場合

- (1) Windows XP クライアントに対し、下記で公開されている JIS2004 フォントパッケージをインストールしないようにしてください。

Windows XP /Server 2003 向け JIS2004 フォントパッケージ：
http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/jis04/default.mspx

- (2) Windows XP クライアントに JIS2004 フォントパッケージを既にインストール済みの場合は、JIS2004 フォントパッケージのアンインストールをおこなってください。アンインストール方法については、上記 URL に掲載されている「アンインストール方法」を参照してください。

2. Windows Vista の場合

Windows Vista に対応したコアシステムクライアント環境を導入する場合には、下記

- (1) および (2) の方法によって、Windows XP のクライアント環境と同様に JIS90 フォント環境を使用するように対応してください。

- (1) Windows Vista クライアント環境に JIS90 フォントパッケージをインストールします。手順については、下記 URL を参照してください。

Windows Vista 向け JIS90 フォントパッケージ：
http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/jis90/default.mspx

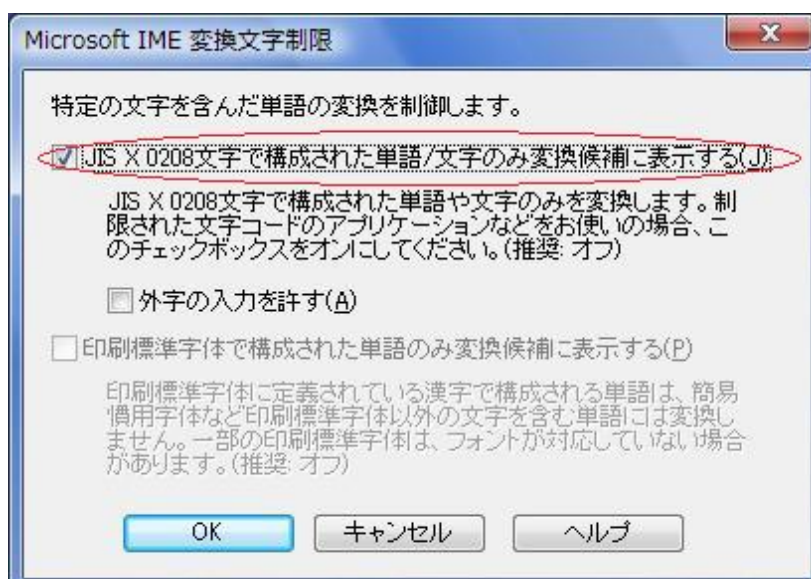
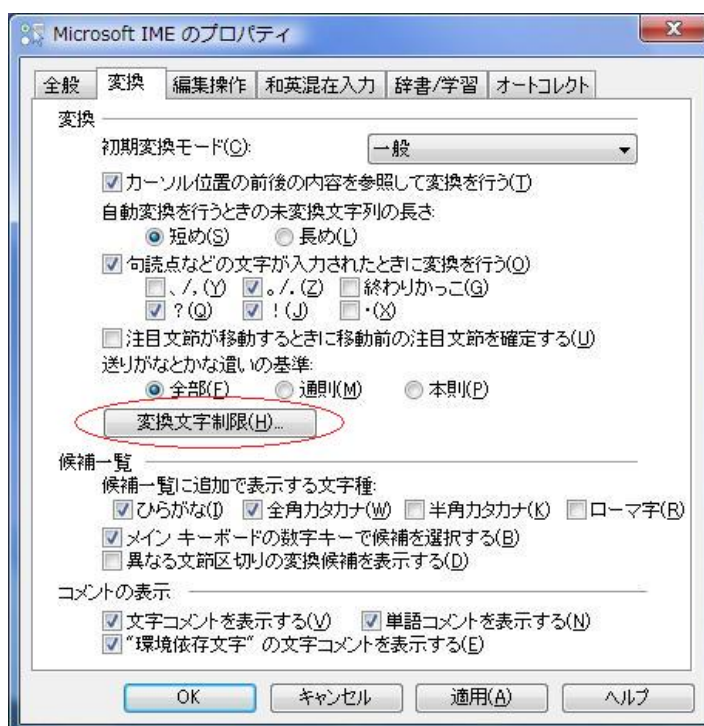
※上記パッケージの適用により、対応するタイプフェイス（フォント）に限り、画面上に表示される字形が JIS90 フォント環境と同等になります。対応するタイプフェイス（フォント）の詳細については上記 URL を参照してください。

また、このパッケージには JIS2004 にて追加された文字（JIS90 フォント環境では

使用できない文字)の入力を制限する機能が含まれていないことを確認していますので、コアシステムクライアント環境として使用する場合には、必ず下記(2)の対応をあわせて実施してください。

- (2) 日本語入力用 IME での変換対象を従来の「JIS90」に制限します。以下に Microsoft IME における対応方法を示します。

IME プロパティを開く→[変換]タブ→[変換文字制限]で、
「JIS X 0208 文字で構成された単語/文字のみ変換候補に表示する」に
チェックを入れる



3. Windows 7 の場合

Windows 7 に対応したコアシステムクライアント環境を導入する場合には、下記（１）および（２）の対応を行い、JIS90 フォント環境を使用するように対応してください。

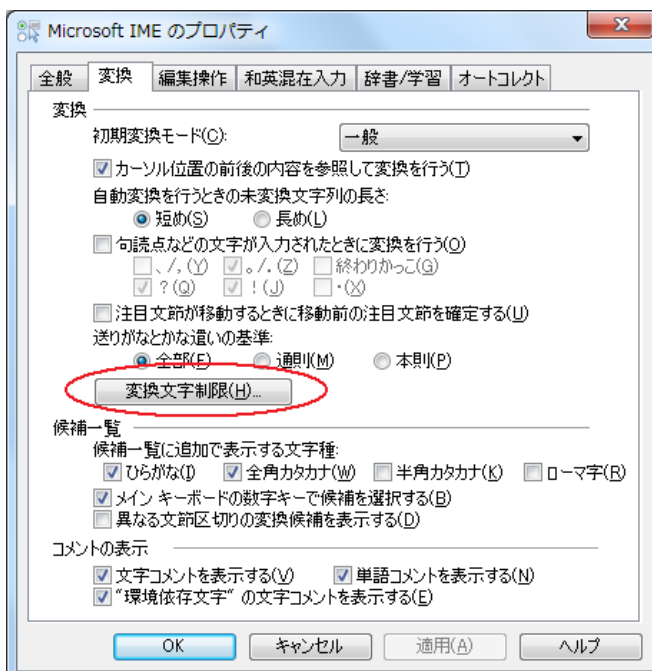
- （１）Windows 7 クライアント環境に JIS90 フォントパッケージをインストールします。
詳細については、下記 URL を参照してください。

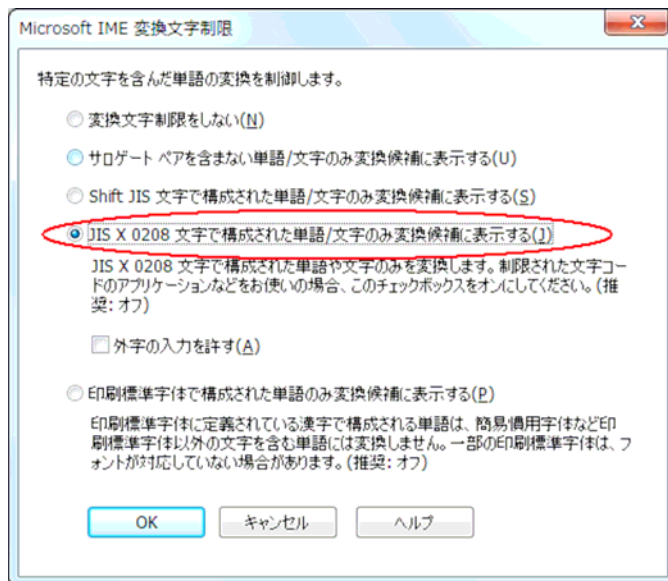
Windows 7 向け JIS90 フォントパッケージ：
<http://support.microsoft.com/kb/927490/ja>

※上記パッケージの適用により、「2. Windows Vista の場合」に記載されている JIS90 フォント環境と同等になります。詳細については「2. Windows Vista の場合」－「Windows Vista 向け JIS90 フォントパッケージ」の URL を参照してください。
また、このパッケージには「Windows Vista 向け JIS90 フォントパッケージ」と同様に、JIS2004 にて追加された文字（JIS90 フォント環境では使用できない文字）の入力を制限する機能が含まれていないことを確認していますので、コアシステムクライアント環境として使用する場合には、必ず下記（２）の対応をあわせて実施してください。

- （２）日本語入力用 IME での変換対象を従来の「JIS90」に制限します。以下に Microsoft IME における対応方法を示します。

IME プロパティを開く→[変換]タブ→[変換文字制限]で、
「JIS X 0208 文字で構成された単語/文字のみ変換候補に表示する」に
チェックを入れる

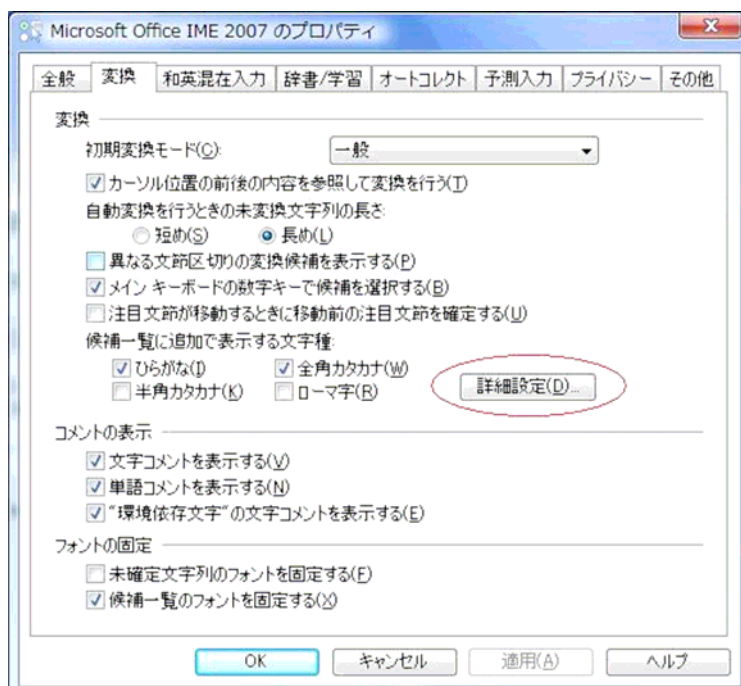


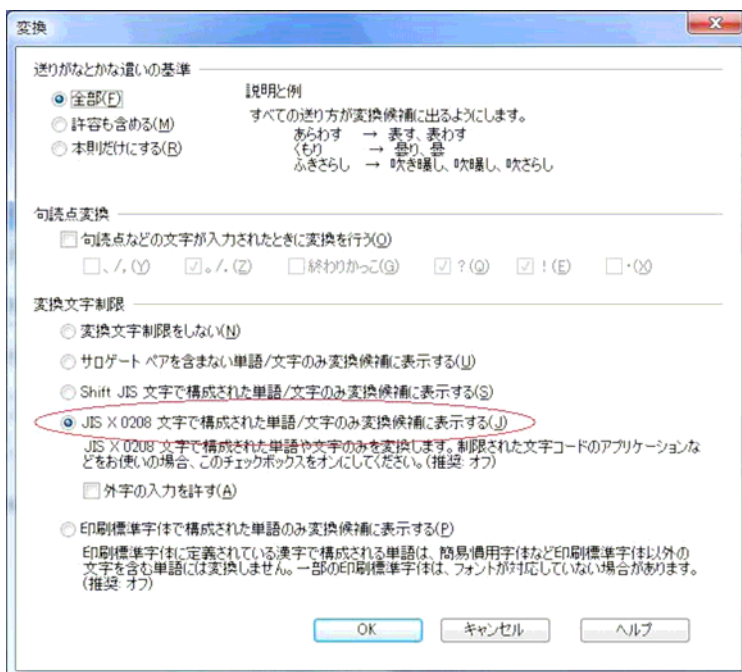


4. Microsoft Office 付属の IME 2007 / 2010 を使用している場合

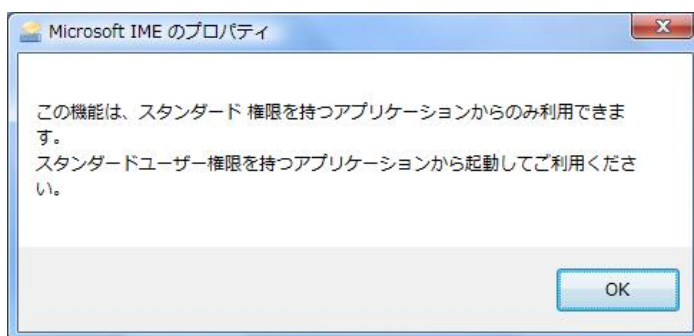
Microsoft Office 付属の IME を利用し、コアシステムクライアント環境を導入する場合は下記の対応を行い、JIS90 フォント環境を使用するように対応してください。

IME プロパティを開く（※１）→[変換]タブ→[詳細設定]で、
「JIS X 0208 文字で構成された単語/文字のみ変換候補に表示する」に
チェックを入れる





※ 1 IME 2007 のプロパティを開く際、ご使用の環境によって以下に示すメッセージが発生し、設定が変更出来ない場合があります。



この現象が発生した際は、Microsoft ホームページの以下の URL に記載されております情報を参考に対応を行ってください。

KB931482 Windows Vista の Internet Explorer 7 で顔文字などの登録した単語が使用できない
<http://support.microsoft.com/kb/931482/ja>

上記 Microsoft IME 以外の対応方法については確認しておりません。
 Windows クライアント環境においてコアシステム上での文字入力操作を行う場合には、上記対応を実施した Microsoft IME (Windows 標準の IME または Microsoft Office 付属の IME) をお使いください。

以上